

革新的技術の推進のための新たな仕組み

革新的技術による成長を実現するためには、
オールジャパン体制で研究を加速することが不可欠

○ トップクラスの頭脳の機動的結集

- 研究者の所属組織を越えて頭脳を機動的に結集する仕組み
- 研究の初期段階から産業界が参加
- 参加企業への知的財産に係る優先的な実施権の設定

○ 統合的なファンディング

- 革新的技術を推進するための特別な研究資金枠の設定
- 研究資金の使い方について、ルールの統一化を進め、効率的に資金を活用
- 複数府省がその枠を越えて連携した統合的な予算の運用

○ 出口を常に見据えた研究マネジメントと成果の社会への普及

- テーマに即した規制の特区的運用等
- ロードマップ作成とPDCAサイクルの確立

革新的技術を持続的に生み出す環境整備

革新的技術を絶え間なく生み出すためには
研究人材の質の向上と基礎研究の充実が必須

【未知の分野に挑戦する人材の確保】

○トップクラスの挑戦する人材の育成・獲得と流動性確保

- 人材流動化の推進（目標の設定、達成度の公表）
- 大学における外国人採用比率の倍増（2011年までに）
- 海外派遣の拡充による国際的な競争環境下での研鑽

○次の世代の挑戦する人材を確保するための改革

- 「スーパー・サイエンス・ティーチャー（仮称）」制度の導入と支援
- 「ハイパー・サイエンス・ハイスクール（仮称）」への支援

【革新的技術のシーズを生み育てる研究資金供給の実現】

○挑戦的かつ高い目標設定の基礎研究への投資

- 競争的資金を拡充。一定比率の「大挑戦研究枠」を設定

○切れ目のない研究資金供給

- 国の全ての競争的資金間での連携システムを確立（2008年度中）